

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010010

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	A		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	医師確保対策事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	14 国保病院・老健施設		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	地域医療体制の維持			#N/A		
事業目標	常勤医師3名		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	国保病院運営委員会	関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	●医師確保対策 ・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費
	事業費(千円)	2,560	500	515	515	515
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,560	500	515	515	515	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	29,558	4,361	6,052	6,011	6,047
	財源内訳					
	国庫支出金	17,872	1,000	4,034	4,006	4,028
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	11,686	3,361	2,018	2,005	2,019	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ●民間医師紹介業者への求人 求人 ●非常勤医師紹介業者からの 仲介派遣	(実施内容等) ●民間医師紹介業者への求人 ●非常勤医師紹介業者からの 仲介派遣	(実施内容等) ●民間医師紹介業者への求人 ●非常勤医師紹介業者からの 仲介派遣	(実施内容等) ●民間医師紹介業者への求人 ●非常勤医師紹介業者からの 仲介派遣
	国保調整交付金	【評価・実績】	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-維持/現状維持	※事務事業評価結果 B-維持/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	872%	1175%	1167%	1174%
		全体達成率	170%	407%	642%	878%
	備考欄					

事業名	医師確保対策事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	常勤医師の確保による安定した医療体制の確立	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	常勤医師を確保し、安定した診療体制を維持するとともに、安心感のある医療の支援を目指す	① 常勤医師の確保	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	町民への安定的な医療支援が可能となり、町民の健康・安全及び効率的な病院運営が図られる		目標値 3名
			達成度 33.3%
		②	目標年度 平成29年度
			目標値 〇〇
			実績値 〇〇
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	常勤医師の確保	医師求人情報掲載(有料ホームページ等)、医師紹介業者及び関係協力機関からの仲介派遣等	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	安定した医療体制の構築のためには必要な事業であり、安全かつ効率的な地域医療体制の確保は、公立病院開設者である町としての責務である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	常勤医師の増員(確保)は達成できなかったが、非常勤内科医師の平日診療のほか、旭川医大からの小児科及び耳鼻咽喉科医師の定期派遣をうけ、町民の受診機会の確保が図られたため、概ね有効であった
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

課題あり	<input type="checkbox"/>	判断の理由	効果的な方法を常に検討しながら対応しているが、全国的な医師不足及び地域性の課題から、直ちに確保が図られるという状況にはなく、新たな公募方式等についても協議・検討する必要がある
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	B	
	常勤医師の増員には至らなかったが、非常勤医師及び派遣医師による計画的な診療体制の確保が図られた	

今後の展開方向
(Action)

	継続/内容の見直し・変更	
	社会情勢や地域課題もあり、常勤医師確保は困難な状況にあるが、官民を問わず関係医療機関等との連携強化に向けた見直しを行い、診療体制のさらなる安定化を図る。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010020

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3 国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	5 地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	病院情報ネットワーク整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	14 国保病院・老健施設	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	電算システム更新数		#N/A	
事業目標	5件(及びリース)	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 医療法・薬事法	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事・会計・健診・薬品在庫システムの更新(リース) ● レセプト電算システムの更新(購入) ● オーダリングシステムの更新(購入) ● 看護記録システム(購入) ● 医薬品情報管理システム(購入) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事・会計・健診・薬品在庫システムの更新(リースアップによる更新) ● レセプト電算システムの更新(購入) ● オーダリングシステムリース 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事・会計・健診・薬品在庫システムリース ● オーダリングシステムの更新(リースアップによる購入) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事・会計・健診・薬品在庫システムリース 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事・会計・健診システムリース ● 看護記録システム(購入) ● 医薬品情報管理システム(購入) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事・会計・健診システムリース 	
	事業費(千円)	117,707	20,690	63,296	5,007	23,707	5,007
計 画 事 業 費	国庫支出金	45,000	5,000	40,000			
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	72,707	15,690	23,296	5,007	23,707	5,007
実 績 事 業 費	事業費(千円)	87,692	13,223	42,120	4,285	23,391	4,673
	国庫支出金	42,100		42,100			
	道支出金	0					
	地方債	9,800				9,800	
	その他	0					
一般財源	35,792	13,223	20	4,285	13,591	4,673	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	国保調整交付金	【評価・実績】	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事・会計・健診・薬品在庫システム再リース ● レセプト電算システム再リース ● オーダリングシステムリース 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事・会計・健診・薬品在庫システムリース ● オーダリングシステムの更新 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事・会計・健診・薬品在庫システムリース 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事・会計・健診・薬品在庫システムリース ● 看護記録システム(購入) ● 医薬品情報管理システム(購入) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医事・会計・健診・薬品在庫システムリース
			※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-維持/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	2件(及びリース)	1件(及びリース)	1件(リース)	2件(及びリース)	(リース)
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	64%	67%	86%	99%	93%
	全体達成率	11%	47%	51%	71%	75%	
	備考欄						

事業名	病院情報ネットワーク整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	迅速かつ正確な医療サービス支援体制の構築	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	医療関係システム整備による医療支援とサービスの向上をめざす	① 医療関係システムのリリース	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	正確な医療情報の処理と円滑かつ迅速な会計処理及び多様化する健診業務の対応が可能となる		目標値 4件
		②	達成度 100.0%
			目標年度 平成29年度
			実績値 〇〇
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	医事・会計・健診・薬品在庫システムのリリース	医療基幹システムによる情報管理	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	医療にかかるネットワークシステムの構築は、正確かつ迅速な医療体制維持のために必要である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	医療基幹システムの活用により、安定した医療体制が図られた
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	システムリリースによる単年度経費の圧縮が図られ、医師・コメディカル・事務等医療スタッフ間の情報共有においても、一元的な管理が行われた
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
医療関係システムは、正確かつ迅速な医療の提供には不可欠であり、サービス向上が図られている		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町民が安心する医療サービス支援には、計画的に適切なシステム構築を図ることが必要である		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010030

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	医療機器整備事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	14 国保病院・老健施設		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	更新機器数			#N/A		
事業目標	21機器以上		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容		
計 画 内 容	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 透析装置5台、水処理装置 除細動器 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 CT撮影装置、心電図計 分包機、超音波診断装置 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 一般撮影用医用画像システム 低周波治療器 ナースコール装置更新 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 回診用X線診断装置 X線TV装置 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 昇降浴槽 水圧マッサージ器 車いす 歩行者 自動体交エアマット		
	事業費(千円)	195,152	40,650	53,744	48,016	43,700	9,042	
計 画 事 業 費	財源内訳							
	国庫支出金	9,450	2,625	2,625		4,200		
	道支出金	0						
	地方債	185,500	38,000	51,000	48,000	39,500	9,000	
	その他	0						
実績事業費	202	25	119	16		42		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	166,200	27,416	44,550	39,370	45,360	9,504	
	財源内訳							
	国庫支出金	6,945	2,625	4,320				
	道支出金	1,312	1,312					
	地方債	148,200	23,400	38,200	39,100	38,000	9,500	
その他	9,660		2,030	270	7,360			
一般財源	83	79				4		
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ●人工透析装置購入 透析装置5台、水処理シス テム全自動溶解装置等一式 ●輸液ポンプ 2台	(実施内容等) 医療機器購入 CT撮影装置、心電図計、 分包機、腹部エコー、整形用 エコー	(実施内容等) 医療機器購入 一般撮影用医用画像システム、 低周波治療器、ナースコール装置 X線撮影装置、シリンジポンプ 輸液ポンプ、AED	(実施内容等) 医療機器購入 回診用X線装置、X線TV装置、 CT用インジェクター、骨塩量測定装置、 リハビリ用牽引装置、 経鼻用内視鏡システム	(実施内容等) 医療機器購入 オゾン水内視鏡消毒器、 赤外線眼鏡、水圧マッサージ器、 リハビリ用牽引装置、 電動昇降式リフト浴槽	
	国保調整交付金 病院事業債 過疎債	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-維持/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	8機器以上	4機器以上	2機器以上	2機器以上	5機器以上	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率		67%	83%	82%	104%	105%
		全体達成率		14%	37%	57%	80%	85%
	備考欄							

事業名	医療機器整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	医療機器の老朽化等に伴う更新及び最新医療機器の導入	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	患者のニーズに即した医療機器の整備により、適切な医療の提供をめざす	① 医療機器の整備	目標年度 目標値 実績値 達成度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	適切な医療の提供により、町民の健康増進が図られる		平成29年度 5機 5機 100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	医療機器の更新及び導入	入札による購入	②
			平成29年度 〇〇 〇〇 #DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	安定かつ適切な診療体制を維持するため、患者のニーズに即した医療機器の計画的な更新(導入)は必要である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	内科・外科・耳鼻咽喉科・リハビリ・病棟にかかる機器の更新(導入)により、医療支援体制及びサービス提供の向上が図られた
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	更新(導入)機器の選定並びに購入費等の精査を行い、事業費の抑制を図った
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
医療機器の計画的な整備により、安定かつ適切な医療サービスの向上が図られている		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町民が安心して医療サービスの提供及び医療機器の経年劣化等に対応するため、計画的に整備を行う必要がある		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 休止 廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010040

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	A		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	医療従事者確保対策事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	14 国保病院・老健施設		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	安定した医療を提供する病院施設		関係課	#N/A		
事業目標	1施設		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	国保病院運営委員会	関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
全体計画 事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	●医療従事者確保対策 ・求人依頼、面談 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載
	事業費(千円)	2,560	500	515	515	515
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,560	500	515	515	515	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,216	0	1,216	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0	0			
	道支出金	0	0			
	地方債	0	0			
その他	0	0				
一般財源	1,216	0	1,216	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	※対象事業について実績なし	求人依頼、面談旅費、広告掲載	※対象事業について実績なし	・ホームページ及びハローワークによる求人 ・関係機関への要請	・ホームページ及びハローワークによる求人 ・関係機関への要請
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 B-維持/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1施設	1施設	1施設	1施設
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	0%	236%	0%	0%
	全体達成率	0%	48%	48%	48%	
	備考欄					

事業名	医療従事者確保対策事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	看護師等の医療技術職員の確保が極めて困難な状況となっており、適時適切な職員の雇用が求められる	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	病院として求められる機能維持のために必要とされる医療技術職員の確保	① 医療技術職員確保	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民に対して、安心感のある良質な医療サービスの提供		目標値 3名
			実績値 1名
			達成度 33.3%
		②	目標年度 平成29年度
			目標値 〇〇
			実績値 〇〇
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	関係機関等への要請	平成29年度の予算支出実績なし(ホームページ及びハローワークによる求人及び医師からの紹介)	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	医師の確保と同様に、医療技術職員の必要数確保は病院機能の維持において重要であり、必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	通年募集している看護師については未だ充足されていない状況であるが、年度途中における薬剤師の退職補充については、医師の紹介により確保することができたことから、概ね有効である
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	予算支出を伴わず、欠員補充できたことは効率的であった
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
公的機関及び民間事業者に対しても求人要請は継続しており、雇用には至らなかったが数件の紹介もあったことから、事業者の拡大等も検討する		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
医療技術職員の確保は、医師確保と同様に病院機能維持のためには不可欠であることから、引き続き適切な募集を行う必要がある		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010050

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	病院車両更新事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成28年度		担当課	14 国保病院・老健施設		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	病院車両の更新		関係課	#N/A		
事業目標	3台		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	●病院公用車両の更新 2台 医師送迎車両及び在宅指導用車両 各1台	●医師送迎車両の更新			●患者輸送バスの更新 1台	●在宅指導用車両及び医師送迎車両の更新	
	●患者輸送バスの更新 1台						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	16,850	4,400	0	0	9,000	
	財源内訳						
	国庫支出金	610				610	
	道支出金	0					
	地方債	11,700				8,300	
	その他	0					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	14,286	3,885	0	0	6,972	
	財源内訳						
	国庫支出金	0	0				
	道支出金	0	0				
	地方債	9,100	0			6,000	
	その他	972	0			972	
関 連 事 項	特定財源の名称 過疎債 企業債(病院債)	【評価・実績】	(実施内容等) ●医師送迎車両更新 1台	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) ●患者輸送バスの更新 1台 ●医業用車両更新 1台	
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-維持/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1台			1台	
		年度達成率	88%	#DIV/0!	#DIV/0!	77%	99%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	23%	23%	23%	64%	85%
	備考欄						

事業名	病院車両更新事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	医療体制維持のための医師送迎及び在宅診療等にかかる移動手手段の確保	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	送迎及び移動手手段の確保により、受診機会の向上をめざす	① 医業用車両更新	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	受診環境の充実により、安心かつ迅速な医療サービスの提供が図れる		目標値 1台
			達成度 100.0%
		②	目標年度 平成29年度
			目標値 〇〇
			実績値 〇〇
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	医業用車両の更新(1台)	入札による事業執行	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	非常勤医師及び派遣医師の送迎にあたり、時間的な関係から公共交通機関の利用が一部困難となり、また送迎車両も経年劣化により故障等を含めた危険性が高まったが、車両更新により安全な送迎が図られたことから、必要な事業である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	医療体制の維持及び町民の受診機会等の向上が図られたことから有効である
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	購入費等の精査並びに入札執行により、事業費の抑制が図られた
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり医業用車両を更新し、医師送迎体制の確立及び在宅診療等にかかる移動手手段の確保が図られた		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
医業関係車両については、導入から相当年が経過し、20万キロを超える走行距離や経年劣化による故障等も頻繁に発生しているものもあり、安全面からも計画的な更新が必要である		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010060

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3 国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	5 地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	病院環境整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成26年度	担当課	14 国保病院・老健施設	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	環境を整備すべき病院施設数		#N/A	
事業目標	1施設	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟及び病院環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・2階病棟冷房設備整備 ・医局他冷房設備整備(4箇所) ・医局等設置テレビの更新(3台) ・PBX・ナースコール装置更新 ・温冷配膳車更新 ・自動食器洗浄機更新 ・業務用冷凍冷蔵庫更新 ・製氷機更新 ・アイスディスペンサー、給茶機更新 ●旧医師住宅等解体撤去 	<ul style="list-style-type: none"> ●2階病棟冷房設備整備 ●医局他冷房設備整備(4箇所) 	<ul style="list-style-type: none"> ●患者用ベッドの更新(10台) 	<ul style="list-style-type: none"> ●PBX装置更新 ●旧医師住宅等解体撤去(2戸) ●業務用冷凍冷蔵庫更新 	<ul style="list-style-type: none"> ●温冷配膳車更新(2台) ●自動食器洗浄機更新 ●製氷機更新 ●特別食・行事食用食器購入 ●患者用ベット更新 ●透析更衣室間仕切り壁改修 ●電算サービス室ヒートポンプ 入替え工事 	<ul style="list-style-type: none"> ●給茶機更新 ●サイドテーブル購入 ●アイスディスペンサー 	
	事業費(千円)	58,188	12,760	5,802	21,240	16,750	1,636
計 画 事 業 費	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	34,300			16,000	1,600	
	その他	0					
	一般財源	23,888	12,760	5,802	5,240	50	36
実 績 事 業 費	事業費(千円)	64,321	11,256	4,407	32,809	14,812	1,037
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	36,000			26,000	10,000	
	その他	0					
一般財源	28,321	11,256	4,407	6,809	4,812	1,037	
関 連 事 項	特定財源の名称 病院事業債 過疎債	(実施内容等) ●2階病棟冷房設備整備 ●医局他冷房設備整備	(実施内容等) ●患者用ベッドの更新(10台)	(実施内容等) ●業務用冷凍冷蔵庫更新 厨房機器、電話交換機装置、 旧医師住宅解体撤去、 冷温水機整備	(実施内容等) ●温冷配膳車更新(2台)、 自動食器洗浄機更新、製氷機更新、 特別・行事食用食器、患者用ベット更新、 透析更衣室間仕切り壁改修、 電算サービス室ヒートポンプ 入替え工事	(実施内容等) ●真空ヒーター部品交換工事	
	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-維持/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値 1施設	1施設	1施設	1施設	1施設	
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率 88%	76%	154%	88%	63%	
	(継続無し)	全体達成率 19%	27%	83%	109%	111%	
	備考欄						

事業名	病院環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	空調設備の経年劣化により、院内の温度調整等に支障が生じることから、快適な医療受診環境への改善を図る必要がある	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	入院患者及び外来患者等への快適な受診環境の提供	① 施設維持のための工事数	目標年度 目標値 実績値 達成度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	入院患者への療養環境及び外来患者等への受診環境の改善が図られ、快適な医療サービスの提供が行われる		目標年度 目標値 実績値 達成度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	空調設備の改修工事	設備管理委託事業者による施工	平成29年度 1件 1件 100.0%
			平成29年度 〇〇 〇〇 #DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	入院患者や外来患者が快適な環境での治療を受けるため必要な事業である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	空調設備の改修により、快適な治療環境が維持されたことから有効である
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	設備管理委託事業者との協議をかさね、効率的な施工とするため一部の部品交換による改修工事にとどめる等、事業費の抑制が図られた
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
機器の更新については、財源調整を含め再考することとし実施を見送ったが、空調設備の改修により快適な病院環境の整備が図られた		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も利用者が快適かつ安心して治療に専念できるよう、計画的な病院環境整備が必要である		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14020010

政策目標	2	めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	5	介護老人保健施設事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	老健施設入所者ベッド更新事業					
事業期間	平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	地域医療体制の維持					
事業目標	ベッド数					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	17 介護老人保健施設		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

		全体計画 事業内容	平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容		●老健施設入所者のベッド更新					・入所者用ベッド更新(25台)	
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	7,500	0	0	0	0	7,500
実 績 事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	0					
		道支出金	0					
		地方債	7,400					7,400
		その他	0					
		一般財源	100					100
実 績 事 業 費	財 源 内 訳	事業費(千円)	6,048	0	0	0	0	6,048
		国庫支出金	0					
		道支出金	0					
		地方債	6,000					6,000
		その他	0					
	一般財源	48					48	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	公営企業債 過疎債	【評価・実績】	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	●入所者用ベッド更新(24台) ※事務事業評価結果 A-終了	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値					ベッド数(25台)	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	81%	
		全体達成率	0%	0%	0%	0%	81%	
		事業進捗状況						

事業名	老健施設入所者ベット更新事業	評価者 管理職 職氏名	事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	事務次長	河原 学

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民(老健施設入所者)		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	入所者用ベッドの老朽化に伴い、快適な入所環境及び介護業務に影響を与える恐れが生じているため、改善を図る必要がある		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	入所者の生活環境及び介護業務の改善を図ることができる		① 入所者用ベッドの更新	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	入所者の環境改善の図ることにより、快適な生活及び介護サービスの向上につながる			目標値	24台
				実績値	24台
				達成度	100.0%
			②	目標年度	平成29年度
				目標値	〇〇
				実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0!%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	入所者用ベッドの更新	入札による事業執行			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	入所者に対する生活環境の改善は、介護サービスの向上につながる重要な事業である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	快適な生活環境の改善だけではなく、見守りを含めた介護業務の向上ができたことから有効である
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	付属品を含む購入品目等の精査並びに入札執行により、事業費の抑制が図られた
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	将来的な入所を含め、町民の多くに受益がおよぶため、公平な事業である
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業の実施により、入所者に対する生活環境が改善され、期待どおりの成果があった		

今後の展開方向
(Action)

終了		
老健施設に係るベッドについては、計画的に更新する必要があるが、当面の計画はないため本事業は終了とする		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止